

事業所名

みつばち森アフタースクール

支援プログラム

作成日

R7

年

2 月

26 日

法人（事業所）理念	子ども・保護者・地域の人々など、たくさんの人とかかわりながら、「共に生き」「共に学ぶ」地域共生社会を目指します。命の尊厳や心のふれあい、意思決定の自由など、一人一人を尊重し、大切にします。学習面・生活面・社会面などを培い、自立に向けた「生き抜く力」を養います。				
支援方針	利用者の身体及び精神の状況、並びにおかれている環境に応じた療育を行います。個人を重んじ、個人の良さを引き出し、活かす療育を重ね、成功体験を多くします。利用者が生活し、利用している、必要な関係機関と連携をとり、共に最善の療育につとめます。				
営業時間	10 時	0 分から	18 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	規則正しい生活リズムの推進やサポートを行い、心身ともに健康な状態を維持できるような取り組みを行います。 (不登校支援、登校支援)			
	運動・感覚	集団活動で、五感を感じる遊びやスポーツを取り入れ、体を動かす楽しさを体験していきます。 また、季節を感じる行事を取り入れ、季節感を大事にしていきます。			
	認知・行動	生活の見通しを持つことで、時間的な認知につなげ、自主的な行動がとれるよう、わかりやすい提示をしていきます。 また、言動のいいパターンとそうでないパターンを経験することで、人間関係に必要なスキルが身につくようにサポートしていきます。			
	言語 コミュニケーション	「ありがとう」や「ごめんなさい」、「ただいま」「おかえり」など基本的な挨拶が身に付くように支援し、それぞれの強みとなるようにつなげていきます。 自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを聞いたりすることで、分かり合う嬉しさを体験し、言葉の選び方や伝え方の幅が広がるように支援していきます。			
	人間関係 社会性	ルールを守ったり、お互いが気持ちよく過ごすために必要なかわり方を一緒に工夫したり考えたりしていきます。 自分たちの考えを出し合って話し合い形にすることで、協調性や譲り合いを学び、責任をもってやり通す機会を設けます。			
家族支援	様々なニーズや要望に寄り添い、家庭的にある「困った」にも寄り添っていきます。	移行支援	それぞれの移行期に起こりうる不安などに寄り添い、本人や家族の意向を聞きながら、満足いく選択ができるようにサポートします。必要な情報などが提供できるように、学校や就労先との連携も行います。		
地域支援・地域連携	子ども食堂や市のイベントに参加したり、各学校と連携を強めていきます。	職員の質の向上	日々の連携をはじめ、各機関が行っている研修に参加し、質の向上を図ります。日常の中から出てくる疑問等のは、迅速に共有し場を設けて解決をします。		
主な行事等	毎月の「みつばちだより」。心理士によるSSTの開催（毎月）、必要に応じて発達検査も行います。（WISC検査） みつばちフェス（射的、スーパーボールすくい、ヨーヨー釣り、コイン落とし、かき氷等）、ジャガイモ掘り、七夕、スポッチャ、ボーリング、一泊キャンプ（中学生以上）、岸和田まつり見学、芋ほり、みかん狩り、ハロウィン、クリスマス会、初詣等。随時公園や遠足、子どもたちのリクエストに応えたお出かけ等。				